

事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名 乳幼児健康支援事業(病児、病後児保育事業)	部署 福祉生活部	課名 児童福祉課	所属長名 榎原 修	
基本事項	総合計画	01	ともに支えあい、笑顔輝くあたたかなまち(健康・子育て・福祉)	財務科目	01	一般会計
	基本政策	04	健やかな子育てを支える環境づくり		03	民生費
	施策	02	子育てと仕事の両立支援		02	児童福祉費
					01	児童福祉総務費
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度	事業開始年度: 平成17年度	完了予定年度: 未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	

事業の対象(誰に対して・何に対して)	事業の目的(どういう状態にしたいのか)
病児又は、病気の回復期にあり、家庭や集団での保育が困難な児童で、市内に居住し保育所に通所している児童又は保護者が市内の事務所又は事業所に就労している児童。	病気の回復期にある児童を就労等の理由で保育できない保護者が、看護師等を配置する保育所に安心して預けることで、子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全な育成を図る。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
実施施設として、専用スペースが付設されており看護師を配置している西脇保育所と、また診断医として藤田小児科医院と委託契約を締結。保護者は利用申請書に医師の実施確認書を添えて申請し、市が利用を決定し承諾書を発行する。利用者は1人1日あたり1500円(減免あり)の費用を負担する。	
補助・単独: <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 義務実施事業 根拠法令要綱等 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務実施事業 根拠法令要綱等: 次世代育成支援対策推進法第11条第1項 次世代育成支援対策交付金交付要綱第3条 <input type="checkbox"/> 任意実施事業 根拠条例等: 西脇市病児保育事業実施規程 <input type="checkbox"/> 市単費上乘せ(またはの場合): 根拠条例等	
正規職員が関与すべき法的義務性: <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務:) 法令名・根拠条文:	
実施形態: <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input checked="" type="checkbox"/> 随意契約(契約先: 社会福祉法人西脇保育所、藤田小児科医院)	

総合計画・行動計画 施策シート

優先度

A B C

展開方針 (年度別の事業内容)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	以降
	総事業費	千円	千円	千円	千円
平成22年度の実施内容・成果			平成22年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見					
			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
	特定財源		1,403	1,403	1,600	1,600	1,600
	一般財源		1,297	1,297	1,100	1,100	1,100
	事業費(決算額) (A)		2,475	2,481	2,418	2,487	
	特定財源		1,256	1,218	1,614	1,389	
	一般財源		1,219	1,263	804	1,098	
一般職員所要人員 (B)	人	0.03	0.03	0.01	0.01		
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	238	238	79	79		
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	2,713	2,719	2,497	2,566		
受益者負担額 (E)	千円	37	38	9	44		
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	1.4%	1.4%	0.4%	1.7%		

【1次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
活動指標	名称	実施施設数	目標値 1園	実績値 1園	目標値 1園	実績値 1園
	説明	病後児保育を実施する施設数	単価 2,713千円	単価 2,719千円	単価 2,497千円	単価 2,566千円
			達成度 100%	達成度 100%	達成度 100%	達成度 100%
(目標)	名称	開所日数	目標値 280日	実績値 280日	目標値 280日	実績値 280日
	説明		単価 9,689円	単価 9,711円	単価 8,918円	単価 9,164円
			達成度 100%	達成度 100%	達成度 100%	達成度 100%
成果指標	名称	利用者数	目標値 30人	実績値 25人	目標値 40人	実績値 14人
	説明	病後児保育を利用した保護者数	単価 108,520円	単価 100,704円	単価 499,400円	単価 183,286円
			達成度 83%	達成度 90%	達成度 13%	達成度 35%
(目標)	名称	利用日数	目標値 50日	実績値 34日	目標値 50日	実績値 7日
	説明	病後児保育を利用した延べ日数(児童数)	単価 79,794円	単価 63,233円	単価 356,714円	単価 53,458円
			達成度 68%	達成度 86%	達成度 14%	達成度 96%
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	3
	直接のサービスの相手方	3	受益者負担の適切さ	3	市民ニーズの把握	3
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	<p>平成21年度から、病児・病後児保育に拡充し、10月からはひょうご病児サポート事業を実施し、昨年と比べ利用延べ人数は増加した。病児・病後児保育は、働く親にとっては必要不可欠である。現在法人保育所に委託して行っているが、他の保育所から利用しにくい面がある。また、確認業務についても、今は委託保育園の嘱託医であるが、他の病院にかかった場合は、再度嘱託医の確認書が必要となるため、急病の時の対応が困難で、利用しにくい。</p> <p>今の制度上、西脇市で補助対象の病児保育が行えるのは1箇所となっているため、他の保育所でも実施可能な園について、単独の補助を考えると、市の公営の場所での病児保育を検討する必要がある。また、確認業務については、西脇市の医師会等市内の病院に拡大するなどの検討が必要である。</p>				

【2次評価】

評価実施:平成22年度

		3	4	3
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	4
	直接のサービスの相手方	3	受益者負担の適切さ	3
総合評価	実施主体の妥当性	3	市民ニーズの把握	3
	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		
	判断理由	<p>現在補助の対象となる保育所は、以前から看護師の配置と専用スペースを整備していた西脇保育所のみであるため、利用しづらい面があり不公平感が残る。しかし、他の保育所が同様の取組みを始めても、制度上、県からの補助は西脇市で1箇所と定められているため、県の補助無しで市が単独の委託を行うことは困難である。また、働く親にとっての病時・病後時保育の重要性については十分に理解するところであるが、総コストを利用日数で割ると単価が5万円強となり、看護師常駐が原則とはいえ割高感が否めない。潜在的な利用希望者も多数であると思われるので、様々な機会を通じて事業内容をアピールし、手続きを簡素化するなど、さらに利用しやすい環境を整えた上で、利用状況を観察して再度評価すべきである。</p> <p>不公平感の払拭と看護師の確保に重点を置けば、市立西脇病院に保育所を併設して事業を行うことが望ましいと考える。しかし、より多くの方々に利用してもらうためには、1箇所枠の拡大を県・国に要望していく必要がある。</p>		

【3次評価】

総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	判断理由		
	改善策		